

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会(令和元年度)

地域協議会名	整理番号	対象作物名	成果目標	現状値	目標値 (R1)	事業実施後(目標年度)	成果目標達成率(%)	都道府県における改善措置の方針
						実績値		
雫石町地域農業再生協議会	1	露地野菜 (ねぎ)	出荷コストの10%以上の削減 【20.4%削減】	499円/5kgケース	397円/5kgケース	936円/5kgケース	-428.4%	<p>集出荷施設の作業員を地元から確保できなかったことによるコスト増や、台風等の影響を受け、品質・収量を確保できなかったこと、また、生産者の高齢化により面積拡大が進まず、計画していた生産量を確保することができず、出荷コスト削減の目標を達成できなかった。</p> <p>このような状況を受け、地域協議会では目標達成に向けた改善策を検討する会議を実施し、産地の核となる担い手の確保・育成対策や単収向上に向けた栽培技術向上対策等に関係機関が一体となって取り組んでいくこととしている。</p> <p>また、担い手の規模拡大を支援するため、県単独事業の活用による省力機械(兼用収穫機)の導入等も実施し、ハード面からも目標達成にむけた支援を行っていく。さらに、地域協議会と連携し品質向上に向けた技術的支援も行っていく。</p>
盛岡市玉山地域農業再生協議会	2	露地野菜 (枝豆)	販売額の10.0%以上の増加 (総販売額) (170.2%)	12,435,814円	33,600,000円	14,322,383円	8.9%	<p>作付面積は計画どおり増加しているが、シカによる食害と湿害により生産量が減少し、目標達成に至らなかった。シカの食害を防ぐため、令和2年度は、鳥獣被害防止総合対策交付金により電気柵導入し、対策を実施した。今後も地域協議会と連携し、適切な鳥獣被害防止対策や排水対策について指導するとともに、栽培管理情報の提供を通して目標達成に向けた支援を行っていく。</p>
紫波町農業再生協議会	1	ぶどう	販売額の10%以上の増加(総販売額) 【97.0%増加】	5,355,639円	10,551,096円	6,237,676円	17.0%	<p>ワイン用ぶどうの木についてH29の大雨、H30の長雨の影響により成熟が想定より遅れたため、十分な収量が確保できなかったことから、目標販売額を達成することができなかった。令和2年度は収穫量を確保できていることから、目標達成が見込まれる。今後も地域協議会等と連携し、技術指導を行うなど計画的に収量を確保し目標販売額を早期に達成できるよう支援を行っていく。</p>

陸前高田市農業再生協議会	1	施設野菜 (いちご・トマト・きゅうり)	販売額の10%以上の増加 (51.5%の増加)	2,246 千円/10a	3,403 千円/10a	2,077千円/10a	<p>-14.6%</p> <p>いちごは、育苗時期の高温の影響を受け、生育不良の苗が多く発生し、定植本数を確保することが出来ず、収量を確保できなかった。さらに、定植時期が遅れ、収穫時期が後ろ倒しになったことから、高単価時期に出荷できず、販売金額の目標達成に至らなかった。今後は地域協議会と連携し、関係機関による作業体系の検討や適切な防除の実施を進めるとともに、定期的な打合せを実施し、改善を図っていく。</p> <p>トマトは、夏場の高温障害による花落ちによって、収穫開始が1ヶ月遅れたものの、関係機関による定期的な巡回や打ち合わせによって、適期管理が実施され、収量が持ち直した。今後も地域協議会と連携し、関係機関による継続した巡回指導の実施や作業効率の向上に向けた人材育成に取組み、販売額の向上を目指していく。</p> <p>きゅうりは、地域協議会が生産者に対し、増反の推進を行ったが、労力やほ場の確保の点から、面積増にはつながらなかった。また、褐斑病等が多発したことから、JAや普及センターによる適期防除の指導と耐病性品種の導入を進め、収量の向上を図っていく。また、地域協議会と連携し、継続して既存の生産者への増反を推進し、栽培面積の拡大を図りながら、販売額の目標達成を目指す。</p>
--------------	---	------------------------	----------------------------	-----------------	-----------------	-------------	--

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会(平成30年度、令和元年度)

地域協議会名	整理番号	対象作物名	成果目標	現状値	目標値 (H30)	H30		R1		都道府県における改善措置の方針
						実績値	成果目標達成率(%)	実績値	成果目標達成率(%)	
花巻市農業推進協議会	3	小麦	販売額の10%以上の増加 (24.7%増加)	11,030円/10a	13,749円/10a	13,190円/10a	79.4%	13,190円/10a	79.4%	播種時期及び収穫時期の降雨の影響を受け、適期作業ができず、収穫量の減少や穂発芽等による品質の低下があり、目標値を達成できない取組主体があった。また、収量及び単価の高い「銀河のちから」の栽培面積を増やす計画であるが、実需者の要望を受け、計画どおり品種転換を行うことができない状況も目標未達の要因となっている。 意欲的に小麦生産に取り組んでいる産地であり、早期目標達成に向け、地域協議会と連携し、適期作業が行われるよう栽培技術情報の提供等を行いながら支援していく。
花巻市農業推進協議会	1	露地野菜 (たまねぎ)	販売額の10%以上の増加 (117.5%増加)	80千円/10a	174千円/10a	80千円/10a	0.0%	80千円/10a	0.0%	平成29年度の県単独事業により建設した育苗ハウスのしゅん工が遅れ、適期に播種することができず十分な生育量が得られなかった。また、平成30年度は、「内部腐敗」が多発し、廃棄が多くなったことから、目標販売額の達成に至らなかった。 令和元年度は、収量を確保できたものの、引き続き「内部腐敗」の発生が課題となっており、早期目標達成のためにも東北農業研究センターの協力を得ながら早期の防除技術の確立に向け取り組む。
盛岡市農業再生協議会	3	施設花き (ユリ)	販売額の10%以上の増加(総販売額)(64.6%増加)	52,301千円	86,108千円	66,245千円	41.2%	75,979千円	70.0%	事業完了が遅かった影響で、H29.12からの定植開始、H30.4から出荷開始となったため、H30年度(決算期3月-2月)の目標生産量を確保できなかった。また、早期出荷のために生産技術高度化施設でも一部低単価のスカシユリを栽培したことにより、目標販売額の達成に至らなかった。 今後は、順次オリエンタルユリの栽培に切り替えながら目標販売額の早期達成に向け、指導を継続していく。
八幡平市農業再生協議会	1	露地花き (りんどう)	販売額の10%以上の増加(総販売額)(10.0%増加)	1,153,763千円	1,269,140千円	1,097,604千円	-48.7%	1,132,369千円	-18.5%	施設整備が、生産者の意欲向上につながり、生産面積を拡大している生産者がある一方、高齢化による作付面積の減少や廃業の影響もあり、目標面積の達成に至らなかった。また、平成30年度の天候の影響により、製品率が低下や出荷が必要期からずれたことによる低単価により、目標販売額が達成できなかった。 今後は、地域協議会と連携し、市単独事業(規格指導員の配置、新規栽培者への苗・資材助成)や県単独事業(品種転換)を活用しながら、栽培管理の徹底、作付面積拡大等により早期に目標を達成するよう支援していく。